

第9回 函館オープンカンファレンス アンケート結果

【回答数 93 件】

【所属】

	回答数	割合
院内	20	22%
院外	60	65%
無回答	13	14%

【職種】

	回答数	割合		回答数	割合
医師	4	4%	看護助手	0	0%
看護師	42	45%	ME	0	0%
保健師	0	0%	MSW	2	2%
薬剤師	0	0%	ケアマネ	21	23%
PT/OT/ST	3	3%	事務	2	2%
放射線技師	0	0%	その他	14	15%
栄養士	0	0%	無回答	5	5%

【経験年数】

	回答数	割合
1～2年目	8	9%
3～5年目	9	10%
6～9年目	18	19%
10年目～	39	42%
無回答	19	20%

質問1 本日のオープンカンファレンスについて、5段階評価をしてください。

1. 専門的知識・技術を学ぶことができた（できた:5～できなかった:1）

	回答数	割合
5	48	52%
4	34	37%
3	8	9%
2	0	0%
1	0	0%
無回答	3	3%

2. 具体的でわかりやすい内容だった（わかりやすかった:5～わかりにくかった:1）

	回答数	割合
5	59	63%
4	30	32%
3	1	1%
2	0	0%
1	0	0%
無回答	3	3%

3. 時間配分は適切だった（適切だった:5～適切ではなかった:1）

	回答数	割合
5	58	62%
4	25	27%
3	5	5%
2	1	1%
1	0	0%
無回答	4	4%

4. 今後に活かせる内容だった（そう思った:5～そう思わなかった:1）

	回答数	割合
5	54	58%
4	26	28%
3	9	10%
2	0	0%
1	0	0%
無回答	4	4%

質問2 良かった点を教えてください。

	回答数	割合
有	52	56%
無	41	44%

<自由回答欄記載内容 ⇒ 別紙>

質問3 悪かった点を教えてください。

	回答数	割合
有	5	5%
無	88	95%

<自由回答欄記載内容 ⇒ 別紙>

質問4 今後に期待すること, その他ご意見等

	回答数	割合
有	16	17%
無	77	83%

<自由回答欄記載内容 ⇒ 別紙>

質問5 今後のオープンカンファレンスについて, 当てはまる項目に✓をつけてください。(複数選択可)

	回答数	割合
①自分の病院でオープンカンファレンスしてほしい	10	11%
②機会があれば参加したい	68	73%
③参加したくない	0	0%

質問2 良かった点を教えてください。

- ・ 多職種連携が上手くいった話を聞いた。
- ・ 病院以外で看取ることの大切さ。
- ・ 他種の方の話が聞いて良かった。
- ・ 在宅医、ケアマネ、グループホームの方の話を聞いたこと。
- ・ 退院後の様子がわかって良かった。
- ・ 良かった点、感想になりますが、司会の川口先生の進行、進め方が良く、今回はスムーズに、金銭面、受け入れてくれたグループホーム、ホームDr、全てがトントンといけた事例と思いましたが、稀なことなのかとも思いました。患者、家族の望みどおりにグループホームに入所でき、治療できたことは幸せなことだったと思います。参加できてよかったです。
- ・ 退院した後の経過を知れたり、入院中は聞けなかった、本人やご家族の思いを知ることができ、良かったです。
- ・ 病院と施設の協力のあり方、必要性が理解できた。
- ・ 退院後の様子がわかり、様々な人が関わっていくことを学んだ。
- ・ とても具体的でわかりやすかったこと。
- ・ ENTされた後の経過をあまり気にしたことがなく、知れて良かったです。
- ・ GHで看取りができること、訪問診療で輸血。
- ・ グループホームで医療管理がこれだけあって看取りまでを行うことができる成功例を知れて勉強になった。
- ・ グループホームでの看取りという題材を選んだ点。
- ・ 病院側、在宅側両方の話を聞いたこと。
- ・ 多職種連携が取れている。
- ・ 症例の説明がわかりやすく、Ptのコメントも理解しやすかった。
- ・ 多くの職種の方が参加していて、患者・家族の意思を確認している生の声を聞くことで、自分の考え方と比較しながら聞くことができた。大変勉強になりました。
- ・ 関わった人たちから直接話が聞けたので、わかりやすく参考になる。進行が上手にまとめて進めてくれるので理解しやすい。
- ・ GHでも輸血、看取りが可能だったこと。各関係者のやってみようとする気持ちがよかった。
- ・ 血液の疾患のことで勉強になった。座席配置。
- ・ Drのレクチャー、在宅での輸血を行うことの難しさとどうやってクリアしたかがわかったこと。
- ・ 進行係の進め方が上手なので、わかりやすかったと思います。グループホームのスタッフのレベルが高かったので、受け入れられたんだと思います。
- ・ 当施設ではどうなのか、果たして対応はどうなのかと考える事例でした。介護レベルUPを再度認識しました。
- ・ 多職種の方の話が聞いて良かったです。
- ・ 具体的な内容がとてもわかりやすかったです。
- ・ 在宅輸血のこと、ACPのこと、W主治医のこと、最後の療養場所のことなど、いろいろなキーワードで話が聞けたことが良かった。
- ・ ご本人・ご家族の希望に添え、お看取りまでできたこと。
- ・ GHでの受け入れや医療との連携が必要なケースでも、職員さんも対応してくれて、本人、家族の気持ちを受け入れてくれてよかったです。
- ・ GHで看取りを行える、本人の望んだ生活、最期の時を全うできた、そのケアを知ることができ、GHも又在宅だと認識できました。
- ・ 今まで考えたことなかった自費ヘルパーの使い方などがわかり、今後の参考になります。施設でどこまでできるのか、驚きでした。GHに訪看とか。
- ・ 時間があっという間に過ぎました。
- ・ ケースの状況がわかりやすかった。この病気について勉強になった。チームの連携の力の凄さがわかりました。
- ・ 血液疾患のケースの経験がなかったので、話を聞いて良かった。
- ・ 専門的なことが学べた。
- ・ GHと訪問看護との連携も強く、看取りができたのだと思う。本人や家族の思いを尊重した、よいケースだったと思う。輸血に対しての知識も学ぶことができました。

- ・ 在宅。
- ・ グループホームでの対応の仕方が参考になりました。
- ・ 他施設の事例を聞くことができたこと。
- ・ わかりやすく説明していただき、良かったです。
- ・ GHで往診、訪看の利用を外部からできると思わなかったので、勉強になった。自費のヘルパーの手があるんだと思った。このようなGH、よいですね。
- ・ 発表の役割分担ができてわかりやすかった。
- ・ ご本人の意思、ご家族の思い、医療との連携など、施設が大変な事例と思っていることも、条件が整うことでクリアできることがわかって良かった。
- ・ 病院と施設、専門職と本人・家族との連携事例として参考になりました。
- ・ 色々な視点の話が聞けた。制度についても触れる機会になった。
- ・ 家族の想いを受け止め、尊重したところが良かった。
- ・ グループホームでの受け入れる姿勢。これからはグループホームにおける看取りが増えてくるところ。
- ・ 各部署で受け取り方、考え方の違い等わかりやすかった。医療面の説明、わかりやすく勉強になった。
- ・ 1人の利用者(入居者)様の入居前の通院から、入居、亡くなるまでの経過を各段階で関わった方々のお話を伺いながら追うことで、具体的に感じることができました。
- ・ 難しい状況でもグループホームでの看取りをし、ご本人の思いをかなえてあげた皆さんの話を聞くことができました。
- ・ 医師、看護師、訪看、ヘルパー、グループホームと、色々な職種の方が関わった看取りのケースで、とても勉強になった。
- ・ わかりやすくて良かった。

質問3 悪かった点を教えてください。

- ・ マイクのバッテリー。
- ・ 病院での療養環境の改善。
- ・ なかなかグループホームでの看取りは難しいと思います。
- ・ ポイントを整理しながらの進行なので、わかりやすかった。
- ・ 7時あたりから話すことがなくなったのか、道がそれたり、むちゃ振りがあった。同じことを言っていたりと。1時間ないくらいが時間としては適切なのでは。

質問4 今後に期待すること、その他意見等

- ・ 都市部Dr間での話も興味あります。
- ・ 色々な症例を知りたいです。
- ・ 施設での看取りのオープンカンファレンスはどうですか。
- ・ このようなカンファレンスを長く継続してほしい。
- ・ 色々な事例も聞いてみたいと思いました。
- ・ 大変、有意義な時間でした。
- ・ 介護、医療の連携のタイミングや、改善策も今後の課題として、色々な問題点を解決できればと思いました。
- ・ 色々なケースがあると思うので、自分が出会っていない病気、状況の方について知りたいです。いろんなバラエティに富んだものを取り上げてほしいと思います。
- ・ 何も言えませんが、また参加したいと思います。
- ・ 家族の希望がかなって良かったです。
- ・ 鉄分が体にたまるというのに怖さを感じた。輸血以外での摂取でも取り過ぎると体にたまって良くないのか疑問でした。
- ・ ぜひ継続的に行ってほしい。いつも学びになります。川口先生の進行も聞きやすく、質問もわかりやすいです。
- ・ 病院、訪看等、連携のやり方の参考事例がありましたら教えてほしいです。
- ・ 介護職はそれぞれ考えがあり、こうしたいと思う気持ちがあるのに、人員不足の為、思いどおりの介護ができないというのはとても残念だと思う。医療との連携がしっかりしていると職員も安心できると思う。
- ・ また参加させていただきたい。
- ・ 退院支援についてお願いしたい。